令和８年度第２回献血推進調査会
資料２-１

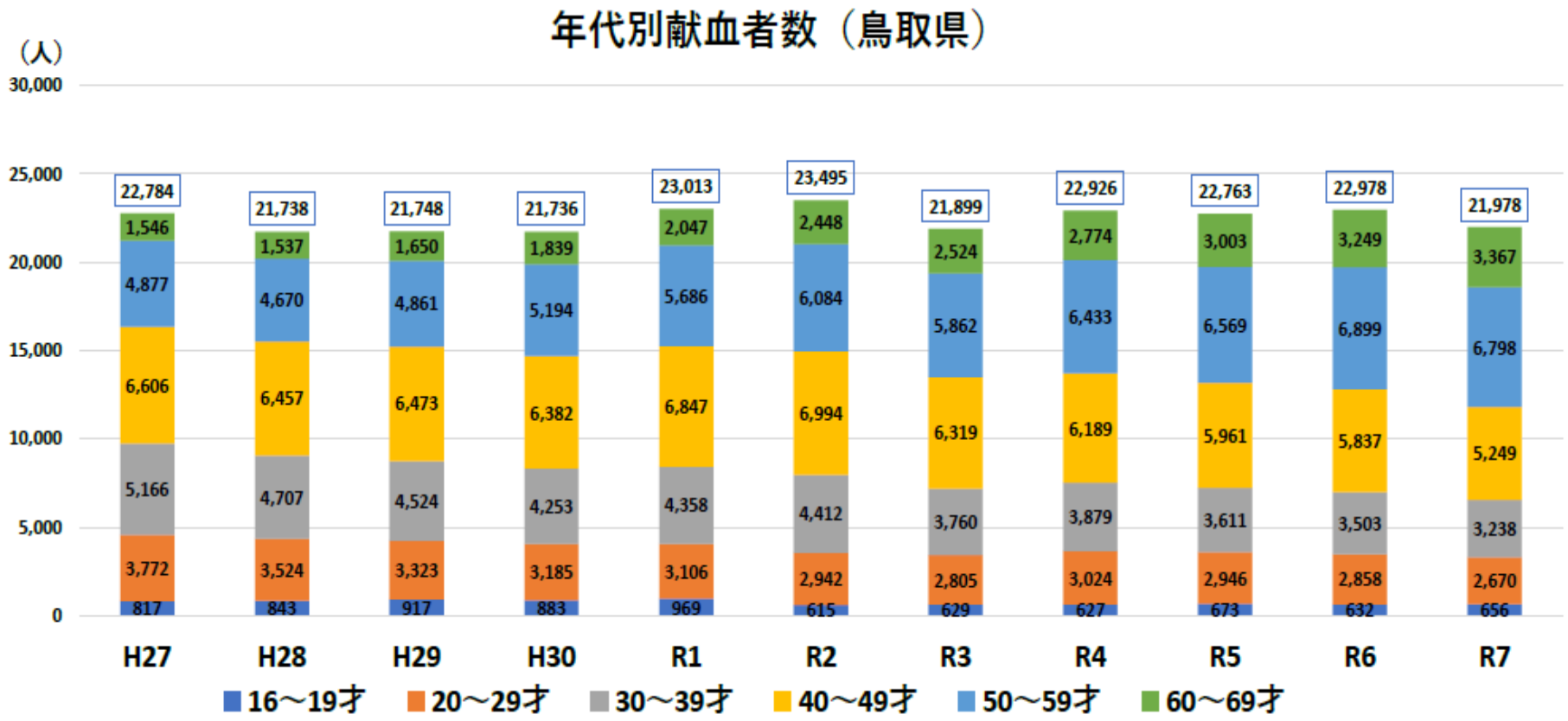
鳥取県における
献血推進の取組について



令和８年１１月１６日
鳥取県福祉保健部
健康医療局医療・保険課
課長　小寺　康博

1　鳥取県の献血概況

■本県の献血者数は、毎年度２万人強で推移
■令和７年度の自給自足率は106.1%
　⇒県内の必要数を県内での採血で満たしており、医療機関へ安定して血液製剤を提供
■一方、少子化による人口減少により、若年層（10代～30代）の献血者数は減少傾向で、
　この10年で、全献血者数に占める割合は42.8%（H27）から29.9%（R7）に減少
■将来にわたり安定的に血液を確保するためには、若年層に対する一層の献血推進活動が必要



2　第62回献血運動推進全国大会の開催

若年層の献血機運を高め、血液事業のより一層の推進　　【参加者　約1,100名】

日程：令和８年７月１０日（金）　場所：米子ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ（米子市）

■学生の大会実行委員会への参画、企画・アトラクション出演など、若年層が多く参画する大会となり、若年層を中心に献血推進の機運の向上に寄与

■手話付き「献血のうた」、手話パフォーマンスなど、鳥取県らしさ溢れる大会となり、本県の魅力を発信・ＰＲ

●ウェルカムアトラクション
- 地元幼稚園児によるマーチング・和太鼓等の演奏

●式典
- 献血功労者への表彰　・おことば
- 「献血のうた」を初めて手話を付けて高校生が合唱
- 鳥取発・米子東高等学校による手話パフォーマンス
- 学生による献血についての体験発表
- 県赤十字有功会による献血事業用備品寄贈　など

●アトラクション
- 「けんべい（県米）神楽」（米子養護学校）
- 赤十字奉仕団（地域・学生）の活動報告
- 若年層向け献血推進啓発動画上映（献血推進サークル）

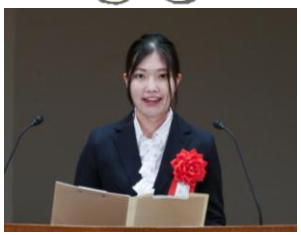
●企画展示
- 手話や障がい者アートの折り紙のワークショップ
- 医療のルーツ白兎神社・赤猪岩神社
- 医工連携、とっとり発の医療技術　など

●同時開催
- あいサポート・アートとっとり特別展（障がい者アート）


秋篠宮皇嗣妃殿下
おことば


献血のうた（手話付き）


地元高校生による
手話パフォーマンス


学生による体験発表


若年層向け献血推進
啓発動画上映

＜大会後の効果・反応＞
- 出演した高等学校（１校）の献血への理解が深まり、新たに学内献血を実施
- 表彰受賞者（企業）が大会後に企業内での献血の呼びかけをより強化⇒当企業の献血者数が増加
- 出演した学生に対する学校や友人からの応援と労いの声⇒今後の献血推進活動へのモチベーションアップ

3　献血推進の取組①

若年層向け啓発動画「My Debut 献血」

■若年層により効果的な啓発を行うため、**大学献血推進サークルの学生が出演の「初めての献血」を応援する動画を制作**

■県公式YouTubeチャンネルの「とっとり動画ちゃんねる」で公開中

■献血運動推進全国大会や県主催イベントで放映するなど、啓発に活用

出演者：献血推進サークル学生、鳥取県赤十字血液センター職員
（内訳：鳥取大学12名、公立鳥取環境大学1名、鳥取看護大学2名）

時　間：通常版4分30秒（手話付き）、ショート版1分程度

内　容：献血デビューのきっかけ、献血デビュー後の思いの変化、
献血推進サークルの活動内容、献血の流れ、献血デビューへの応援メッセージ など



〈完成した啓発動画〉

若年層向け啓発イベント

■若年層の献血への関心を高め、初回献血に対する不安を取り除き、若年層の献血者数を増やすことを目的に、**多くの人々が集まる商業施設で啓発イベントと献血を実施**

■**大学献血推進サークルの学生が運営スタッフとして参加**


〈献血推進サークル活動紹介〉

【令和７年度 開催概要】

開催日：令和7年11月23日（日・祝）　　開催場所：イオンモール鳥取北

内　　容：元バレーボール日本代表 木村 沙織氏によるトークショー、
書道パフォーマンス、もっと知ろう！献血クイズ大会、
献血推進サークル活動紹介、VR献血体験コーナーなど


〈書道パフォーマンス〉

来場者数：約600名　　当日の献血者数：89名（うち10代～30代は39名）

※イオンモール鳥取北における1日当たりの献血者数過去最高記録を更新

当日の献血者の声：・子供がサイン入りＴシャツを欲しがっていたので献血をした。
ちょっとしたきっかけだが、命を救う献血をしてよかった。
・楽しいイベントなので、また開催してほしい。

※令和６年度は、小島よしお氏を迎えてイベント実施


〈献血の実施〉

3　献血推進の取組②

街頭キャンペーン

■愛の血液助け合い運動の期間（７月）に、**高校生ボランティアや大学献血推進サークルの学生も参加し実施**

【実施場所】

・イオン鳥取北店　・エースパック未来中心

・イオンモール日吉津

※高校生ボランティア　計44名が参加（R8）

■主要なJR駅でも、**大学献血推進サークルの学生等と一緒に随時実施**

【実施場所】

・鳥取駅（令和7年12月）・倉吉駅（令和8年2月）

・米子駅（令和8年3月）　・鳥取大学前駅（令和8年4月）



〈事前研修〉



〈献血協力の呼びかけ〉



〈JR鳥取大学前駅での街頭キャンペーン〉



〈JR米子駅での街頭キャンペーン〉

機運醸成啓発イベント

■第62回献血運動推進全国大会に向けた献血の普及啓発や広報活動の積極的な展開

■**大学献血推進サークルの学生が運営スタッフとして参加**

【開催概要】

開催日：令和8年3月22日（日）（ｲｵﾝﾓｰﾙ鳥取北）
令和8年4月29日（水・祝）（ｲｵﾝﾓｰﾙ日吉津）

内　容：献血まねっこ体験、献血ｸｲｽﾞﾗﾘｰ、
VR・静脈観察体験、けんけつちゃんｼｰﾙづくり
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ、ﾒｯｾｰｼﾞﾎﾞｰﾄﾞ作りなど



〈献血まねっこ体験〉



〈献血推進サークルの学生も参加〉

来場者の声：

・子どもは初めて献血を知ったようで、良いｲﾍﾞﾝﾄだった。

・献血のことを多くの方々に知っていただくｲﾍﾞﾝﾄは大切だと思う。1人でも多くの方が助かると良い。5

3　献血推進の取組③

若年層向け献血啓発広報誌「あとり」

■大学献血推進ｻｰｸﾙ、血液ｾﾝﾀｰ、県が協力して、若年層向けの広報誌を作成（令和6年度～）

■ｻｰｸﾙのSNSや血液ｾﾝﾀｰHP等で発信

発行：年2回（9月・3月）
※春の新入生歓迎シーズンと秋の大学祭に合わせ発行
部数：1回あたり1,500部程度
内容：・献血に関する情報発信
・献血推進ｻｰｸﾙの紹介　など



〈広報誌「あとり」第5号（令和8年10月1日発行）〉

まんが冊子

■献血推進まんが冊子を作成し、県内学校（小・中・高校）等へ配布を行い、幅広い層に対して献血推進をPR



〈まんが冊子〉

オリジナル付箋

■献血運動推進全国大会に向けた標語・ﾎﾟｽﾀｰﾃﾞｻﾞｲﾝ募集で集まった最優秀作品や若年層向け献血啓発ｲﾍﾞﾝﾄで実施した書道ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽの作品を掲載

■街頭ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ等で配布



〈オリジナル付箋〉

高等学校等への学内献血・献血セミナーの働きかけ

■毎年度、血液センターが高等学校等を訪問し、学内献血や献血セミナー（献血の知識や必要性等を説明）を依頼

■令和８年度～　県・県教育委員会も高等学校等を訪問して協力を依頼
⇒学内献血：新たに１校　献血セミナー：新たに１校



〈高校での献血セミナー〉



〈献血推進サークルの学生による体験談発表〉



〈VRゴーグルによる献血疑似体験〉

3　献血推進の取組④

ぼうさいこくたい2026 in鳥取 併催イベント「防災のテーマパーク」でのブース出展

■継続的な献血推進のため、献血推進PRブースの出展・献血の実施

■大学献血推進サークルの学生が運営スタッフとして参加

【開催概要】

開催日：令和8年10月17日(土)、18日(日)

場　所：エースパック未来中心（倉吉市）他

内　容：献血VR体験、血管年齢測定、静脈観察体験、肌年齢測定、ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ推定値測定体験、けんけつちゃんの塗り絵ｺｰﾅｰ、ﾊﾟﾈﾙ展示、啓発動画「My Debut 献血」動画放映、献血の呼びかけ、啓発ﾁﾗｼ・用品(ｵﾘｼﾞﾅﾙ付箋)の配布など

ﾌﾞｰｽ来場者数：約800名

献血者数：59名(受付者数:70名) ※献血の実施は17日(土)のみ



〈学生による献血の呼びかけ〉


〈献血推進ＰＲブースの様子〉



〈献血の実施〉

４　今後の取組

・献血運動推進全国大会では、多くの学生や生徒に大会へ参加いただくなど、若年層への献血推進機運向上について一定の成果が得られた
・これを踏まえ、大会後も、引き続き、若年層を中心に広く県民に、献血の重要性の理解と協力の促進を図る
⇒まずは、令和８年９月補正で次の事業を予算化
⇒今後も、血液センター・学校関係者・医療機関・企業等や学生とともに、若年層対策などの取組を実施

（１）献血を広め届ける推進ネットワークの設置

■献血運動推進全国大会では、日赤関係者のみならず、学校関係者や企業、医療機関など様々な分野の関係者が参加され、献血推進には、関係者間で連携・協力して取り組むことが重要であると認識
■献血関係者が集い、若年層への献血推進や献血者数が不足する時期の対策等を検討
＜予　定＞
構成員　：医療機関、献血協力企業（団体）、鳥取県学生献血推進協議会、報道機関、血液センターなどの団体から、12名程度を予定
協議事項：・献血の普及啓発や若年層への献血推進
・企業・団体や学校向けの献血推進
・献血者数が不足する時期の対策　など



（２）広めよう！届けよう！献血フェスタの開催

■献血に関する講演会の実施や展示、体験ブースの設置などを行う献血フェスタを開催
■若者が企画・運営に参加し、若者を中心に広く県民に、献血の重要性を認識してもらう
＜予　定＞
開催時期：令和９年２月
開催場所：とりぎん文化会館（鳥取市）
内　　容：・輸血経験がある著名人による講演会　・献血推進サークルの活動発表
・啓発動画の上映　・体験ブース（献血VR体験など）
・献血の実施　など